



少年課速報

～非行少年を生まない社会づくり推進中～



少年の検挙補導状況 (平成30年3月末の暫定値)

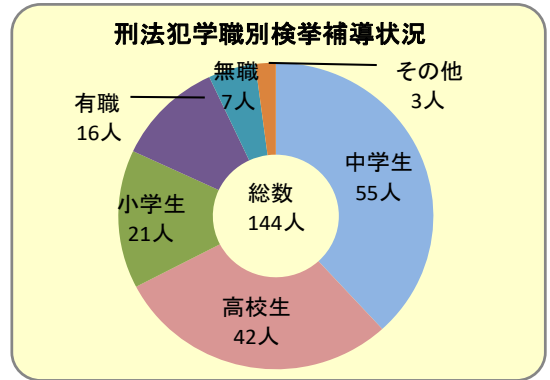
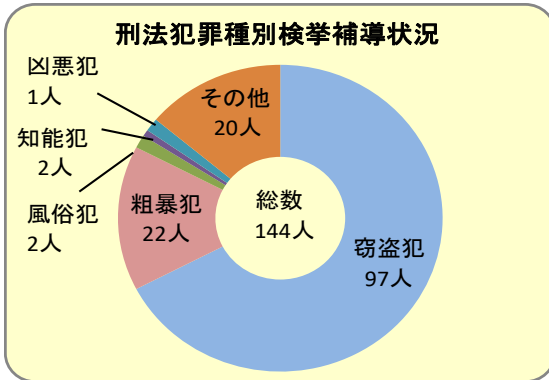
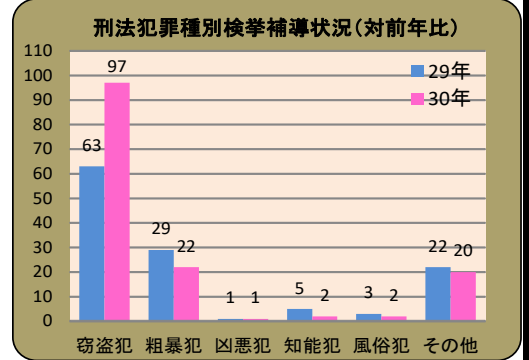
平成30年3月末までに刑法犯で検挙補導された少年は144人で前年に比べ21人増加しました。

このうち犯罪少年は97人で11人の増加、触法少年は47人で10人の増加となりました。

罪種別では、窃盗犯が97人と全体の67.4%を占め、以下粗暴犯、器物損壊等その他犯罪、風俗犯・知能犯・凶悪犯と続いています。

学職別の検挙補導状況では、学生・生徒が121人と全体の84.0%を占め、そのうち中学生が55人で、全体の38.2%を占めました。

また、オートバイ盗・自転車盗・万引き・占有離脱物横領の初発型非行については79人で、前年に比べ28人の増加、全刑法犯中54.9%を占めました。

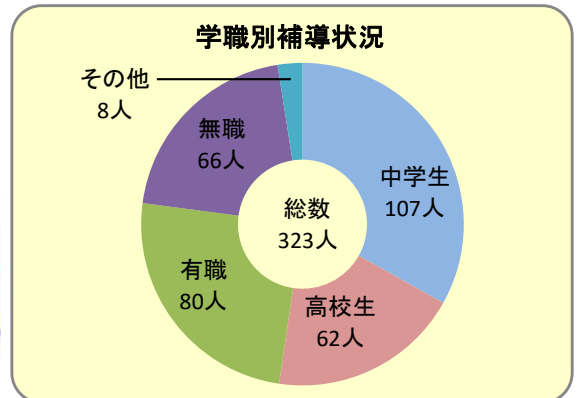
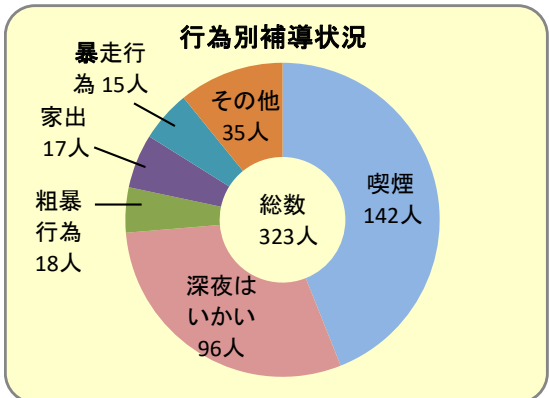


不良行為少年の補導状況 (平成30年3月末の暫定値)

平成30年3月末までに不良行為で補導された少年は323人で、前年同期に比べ91人の減少となりました。行為別では喫煙が最も多く142人で全体の44.0%を占め、続いて深夜はいかいの96人 (29.7%)、粗暴行為が18人 (5.6%)と続いています。

学職別では中学生が107人で最も多く全体の33.1%を占め、続いて有職少年の80人 (24.8%)、無職少年の66人 (20.4%)、高校生の62人 (19.2%) などとなっています。

また、学生・生徒は179人で全体の55.4%を占めました。



平成30年3月中に検挙した主な少年事件

◎ 実父の後頭部をゴルフクラブで1回殴打する暴行を加え、後頭部打撲の怪我を負わせた男子高校生を逮捕 【米原署】